

2026年 5月1日発行

進路通信 「未来への扉」 5月号

進路支援部発行

1. 進路支援部の紹介

新学期がスタートし、4月が終わろうとしています。今どんな心境でしょうか？ほとんどの人が気持ちを「一新」して頑張ろうと思っている日々だと思います。GWを前に授業や補習や部活など、今、自分に何が必要なのかを真剣に考えて、前向きに行動している日々ですね。『今の気持ち』を忘れずに、『今の行動』を『継続』して習慣にすることが大切になります。

自己紹介・進路実現において一言

部長 桑名 浩之 先生 (国語科) 『主体的な受験生』になることが重要である。

佐々木 浩二 先生 (地歴公民科) 『情報』を集めることが、進路実現への第一歩。

金岡 亜希子 先生 (実習助手) 『今日の小さな一歩』が明日をつくります。

2. 進路支援部長より 『偏差値幻想から脱出し、主体的な受験生になることの重要性』

偏差値とは ある試験結果が、それを受けた母集団内において、50を基準にして、相対的にどの位置にあるのかを、数量的に示してくれる値のこと。

偏差値比較が意味を持つ場合とは 同一試験、同一母集団の受験者同士である場合のみ。

偏差値幻想とは 偏差値ランキング表の大学毎の数値を、絶対的基準として独り歩きさせ、比較できない異なる試験、異なる母集団の数値同士を比較して、価値評価し、受験先選択の重要な基準にしている。そして、調べもせず、低偏差値大学は全て、教育力や研究力が低く、能力の高い学生はいないと思いついでいる。(大学の教育力、研究力、学生の研究力は本来的に偏差値表内の数値とは無関係)

実際の合否状況と偏差値表の数値の関係 そもそも総合型や学校推薦型で教科入試のない選抜では、偏差値表の数値と合否には直接的な因果関係は存在しない。一般選抜でも、模試等の偏差値に縛られずに、志望校の過去問分析を行い、それを踏まえた効果的な対策をとることで、模試での評価以上の結果を出している者が毎年それなりの数いる一方で、偏差値幻想に囚われ、最初から挑戦しようとしないうちも、多数存在している。さらに言えばそもそも、その大学の偏差値に沿った者だけがその大学を受験しているわけではない。例えば東大に合格できそうな偏差値であっても、家から通える京大に行く生徒や、京大に合格できそうな偏差値の生徒が、自動車系の研究をしたいために、豊田工大に進学するというようなことは珍しくない。だから大学入学時点でのその大学の入学生徒の模試の偏差値の分布は、偏差値ランキング表とは大きく異なっているのが実態である。

偏差値幻想を維持させている者とは 高偏差値大学合格だけが、人生の実績となってしまう者と、自分で考えたり、調べたりすることなく、誤った常識を鵜呑みにしている者。どこの大学に入るかだけに目を向け、入学後大したこともせず、有名大学卒業という、水戸黄門の印籠のようなものが手に入ると考えている受験秀才たち。

以上を踏まえて 当日の学力試験のみで勝負が決まるような入試形態の場合、偏差値ランキング表を踏まえつつ、最終的に受験校を考えるというのは、戦術的には問題はないが、それ以前の戦略の問題として、何を基準に大学学部学科を選択するのか、その該当大学学部学科に合格するには、どういう準備が必要か、ということを偏差値という基準抜きで、考え、実行していくことこそが、主体的な受験生になる上での必要条件と考える。

3. 今後の進路関連の予定

5月 2日(土)	3年 就職・公務員模試
5月 18日(月)～22日(金)	中間考査(定期考査で『基礎学力』を身につける)
5月 23・24日(土・日) 3年	就職・公務員模試、3年ベネッセマーク模試
6月 13日(土)	3年 GTEC
6月 20・21日(土・日)	3年ベネッセ記述模試
6月	『進路の手引き』配布(予定)……先輩の内定・合格体験記を必ずチェック!

4. GWの過ごし方について「勉強法を見直しませんか？」

『課題考査の結果』は、どうだったでしょうか？半年後（9月～11月）のあなたは、『今』この瞬間に決まっています。課題考査で自分の『弱点』をしっかりと把握し、『基礎学力』を固める必要があります。

しかし、日々の学校生活の忙しさで勉強が、はかどっていないのが現状ではないでしょうか？

皆さんに『1日30分勉強法』を提案します。自分の夢をかなえるために『勉強（自学自習）』が大切なことは分かっていますが、なかなか続けられないという人が多いでしょう。でも『1日30分』ならやれるとは思いませんか？そこでベストセラーになったビジネス書『「1日30分」を続けなさい！』の著者、古市幸雄さんの勉強を『続けるコツ』を紹介した新聞記事の内容を紹介します。

あなたは、毎日忙しく過ごしています。「勉強する時間なんてない」と思いながら学校と家を往復しています。『本当に時間がないのでしょうか？』1日24時間を見直すと『すき間時間』があることに気が付きませんか？著者曰く『細く長く』勉強しようと思うことが大切だそうです。

『長い時間』を勉強しようとするのがかえって、『プレッシャー』になり出来ないのです。あなたが『ボーン』としている『その時間』を有効に活用してみませんか？（つづく）

5. 進路支援部からのお知らせ「進路支援室の活用方法について」

- ・進路支援室(2F)の赤本などを貸し出し可能です。名簿に記入後、一人一冊、一週間貸し出し可能です。志望校の過去問を知り、早期対策をしてください。
- ・進路支援室は、本館2Fの3—4側の突き当たりにあります。
昼休み～13:15まで 放課後～16:50まで 飲食禁止、資料の持ち出し不可です
- ・各大学の赤本や先輩の受験レポートなど、進路を実現するための資料がたくさんあります。どんどん利用して下さい！進路の相談も受け付けます！

6. 新聞記事で進路意識を高めよう！